

## 成果報告書

令和3年度地域運動部活動推進事業（休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究）  
実施期間：令和3年4月1日（木） ～ 令和4年3月10日（木）

### 基礎情報

受託者 「長崎県教育委員会」

### 再委託先 「長与町教育委員会」（研究推進地域）

長与町人口：40,914人（令和3年12月31日現在）

域内学校数：小学校5校 中学校3校

中学校情報：長与中学校：学級数19 児童生徒数561 職員数46

長与第二中学校：学級数13 児童生徒数383 職員数34

高田中学校：学級数8 児童生徒数207 職員数28

町の概要：

県庁所在地である長崎市の中心部から約10kmの位置にある。昭和40年頃より宅地化が進み、現在では、「都市機能の利便性」と「身近で豊かな自然環境」を併せ持ち、「子育てと教育のまち」、「機能的で暮らしやすいまち」となっている。

### 再々委託先 「特定非営利活動法人 総合型スポーツクラブ 長与スポーツクラブ」（研究推進団体）

設立：平成21年3月7日

会員数：224名（2022年 2月現在）

クラブの特徴：たくさんのスポーツに親しむことができる。年齢、性別に関係なく、気軽に参加できる。有志のボランティアスタッフにより運営している。力量が向上した場合、より専門的なクラブをご紹介できる。

活動種目等：親子バドミントン・親子卓球・親子テニス・サッカー・バドミントン教室・フィットネス教室  
チアリーディング（主に町内の学校施設及び体育施設で、週1～2回実施）

会費：入会金（保険料別）1,000円 月会費 2,000円から ※ファミリー会費もあり

事業概要と本事業への取り組み：

長与町において、多種目・多世代・多志向のスポーツ教室を運営。主に普及型の教室であり、これまで競技会への出場を目的や目標にしていない。

令和2年度から、中学校の部活動と地域スポーツクラブとの融合を進めており、今回の地域移行は、そのような流れの中で研究を進めることとなった。地域スポーツクラブのクラブマネージャーが、当該校の校長であったため、融合をより円滑に進めることができている。

## I 事業の概要

### 1. 趣旨・目的

生徒にとって、望ましい持続可能な部活動と学校の働き方改革の実現に向けて、本県における、休日の部活動の段階的な地域移行や合同部活動等の推進に関する実践研究を実施し、研究成果を検証し、県内へ周知することで、休日の地域部活動や合理的で効果的な部活動の県内への展開を図る。

### 2. 地域移行にかかる本県の現状と課題等

- ・中学校における部活動改革については、将来的な少子化に係る課題と、教職員の働き方改革を踏まえると、一定の必要性は理解しているが、各市町に適した移行の方法と持続可能なスポーツ環境の構築を模索している状況。
- ・少子化の影響が大きい離島及び過疎地域を抱える本県においては、合同部活動の推進や大会の見直しについて、実情を勘案しながら、「長崎県部活動の在り方検討委員会」の中で検討することとしているが、まずは国が学校体育団体や文化芸術団体と協議し、見直しの方向などについて示す必要があると考えている。
- ・特殊な競技や郷土芸能など、地域人材などによる専門的な指導が不可欠な部活動の場合、費用負担が地方自治体や保護者負担になると、財政の厳しい自治体では、部活動の存続が難しくなるため、国による財政支援をぜひお願いしたい。

### 3. 地域移行にかかる拠点地域・拠点校の現状と課題等

拠点地域名（町村部）：長与町

- ・部活動（卓球部）顧問が、競技未経験であり、部員への専門的指導が困難である。
- ・出場する大会が多く、顧問の勤務時間が増える主要因となっていること。
- ・部活動指導のみならず、部の運営（試合申込、練習試合の設定、部員輸送、会計管理など）に多くの時間を要する。
- ・卓球が盛んであり、町内3つの中学校のいずれかのチームが、ほぼ毎年、長崎県大会を勝ち抜き、九州大会へ出場している。

### 4. 拠点地域及び拠点校における、達成目標およびその検証

拠点校名（町村部）：長与町立中学校（長与中・長与第二中・高田中）

#### 【目標】

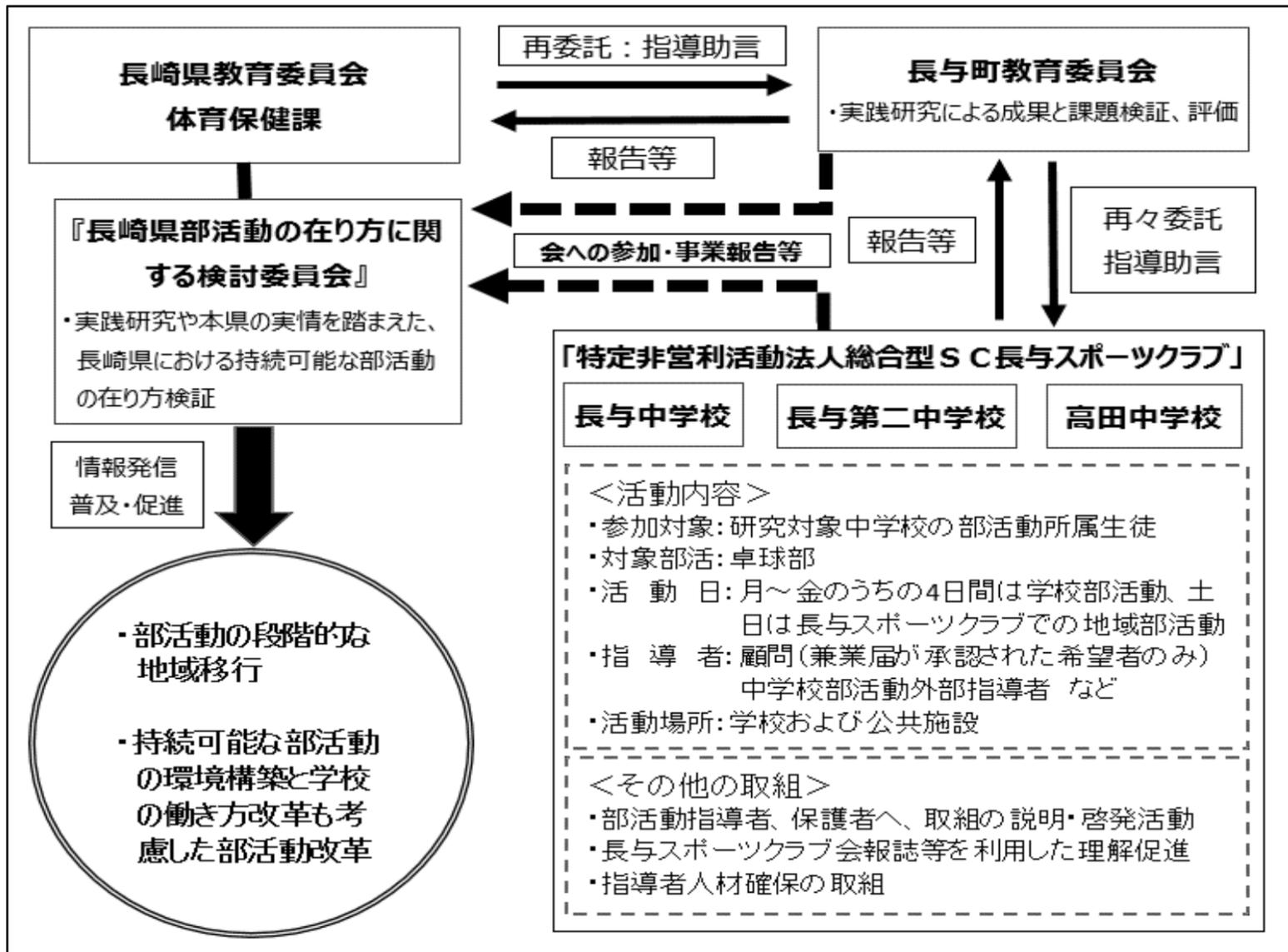
- ・土日・祝日における総合型クラブでの合同練習実施による教職員の負担軽減
- ・総合型クラブによる円滑な部活動運営と、クラブ指導者による専門的指導の充実、試合引率業務の補助などの取組を通じた、満足度の高い、効果的な部活動体制の構築
- ・事業成果の広報及び総合型クラブの周知、普及活動の活性化

#### 【達成目標の検証】

- ・部活動（卓球部）顧問の超過勤務が月45時間未満となること。
- ・部員・保護者・顧問・学校管理職の満足度アンケートで、「満足度」が8割を超えること。
- ・他の部からの、総合型クラブとの「融合」の希望の申出が3つ以上提出されること

## 5. 実施体制

拠点校名（町村部）：長与町  
地域



### 【関係団体一覧】

団体名	本事業における関わり方
長与町教育委員会	再委託 研究推進地域（町村部）
特定非営利活動法人 総合型スポーツクラブ 長与スポーツクラブ	再々委託 研究推進団体
長与町スポーツ協会	オブザーバー的に関与
長与町スポーツ振興会	オブザーバー的に関与

## II 取組内容

### 1. 事業内容

#### 【令和3年度以降 週あたり練習予定】

曜	練習	C会員	部員	備考
月	休み			ガイドラインにより部活動は週1休み
火	学校	○	○	クラブC会員と部員の混在
水	学校	○	○	クラブC会員と部員の混在
木	学校	○	○	クラブC会員と部員の混在
金	学校	○	○	クラブC会員と部員の混在
土	クラブ	○		通知により、休日・祝日は部活動なし。
日	クラブ	○		通知により、休日・祝日は部活動なし。

※1 表中○は活動あり。

※2 「C会員」とは、特定非営利活動法人総合型SC長与スポーツクラブ会員

※3 部活動部員の中で、土日の練習を望まない場合は、「C会員」にはならない。

※4 部活動において、「C会員」と「部員」が混在することがある。

令和3年度  
週2回+αコース  
【開催日1】土曜日9:00~12:00 または 試合参加  
【会場1】町内体育館・卓球場

【開催日2】日曜日13:00~16:00 または 試合参加  
【会場2】町内体育館・卓球場

【開催日+α】祝日9:00~12:00 または 試合参加  
【会場+α】町内体育館・卓球場

【会費】3,000円/月  
【方針】競技力向上を目指し、希望する者が参加する教室  
【参加者条件】

1. 小・中学生は卓球部
2. 参加希望・保護者承諾
3. 保険加入
4. 会費納入

【会費の使途】

1. コーチの交通費・練習会場費
2. 消耗品
3. 試合参加費・郵送料
4. 事務費

【コーチ】3中学校の公認コーチ

【学校の役割】

- ① 月～金 練習場所の提供
- ② 安心して自主的活動ができる環境の提供
- ③ 中体連主催大会の引率
- ④ 顧問教師によるクラブとの情報共有

【長与スポーツクラブの役割】

- ① 土日・祝日 練習場所の提供
- ② 指導者・利用会員のマネジメント
- ③ 中体連主催大会以外の公式試合への手続き・引率
- ④ 会費の管理
- ⑤ 学校との情報共有

【長与町教育委員会の役割】

- ① 長崎県教育委員会と学校、長与スポーツクラブとの連絡調整
- ② 事業に伴う業務
- ③ 学校、長与スポーツクラブへの助言・支援
- ④ 兼務兼業届けの受理・承認業務

### 2. その他の事業等について

時期	計画事項	備考
9月	第1回長与町地域部活動推進検討委員会	長与町教育委員会
10月	アンケートの実施（保護者・生徒・教職員） 取組の視察	長与町教育委員会
11月	第1回長崎県部活動の在り方に関する検討委員会	長崎県教育委員会
12月	第2回長与町地域部活動推進検討委員会	長与町教育委員会
2月	第1回長崎県部活動の在り方に関する検討委員会	長崎県教育委員会

### Ⅲ 成果等（拠点地域及び拠点校の実践から）

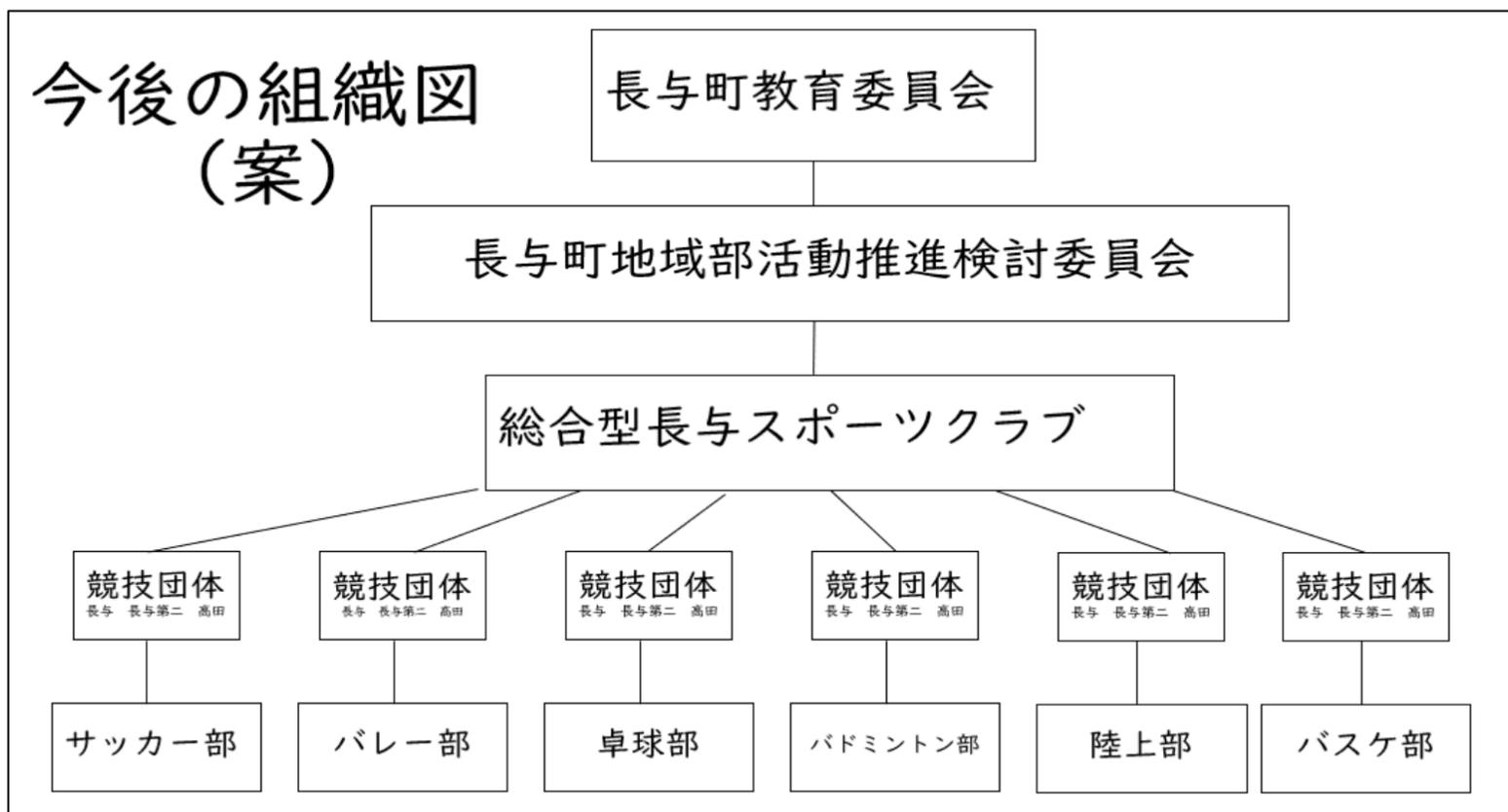
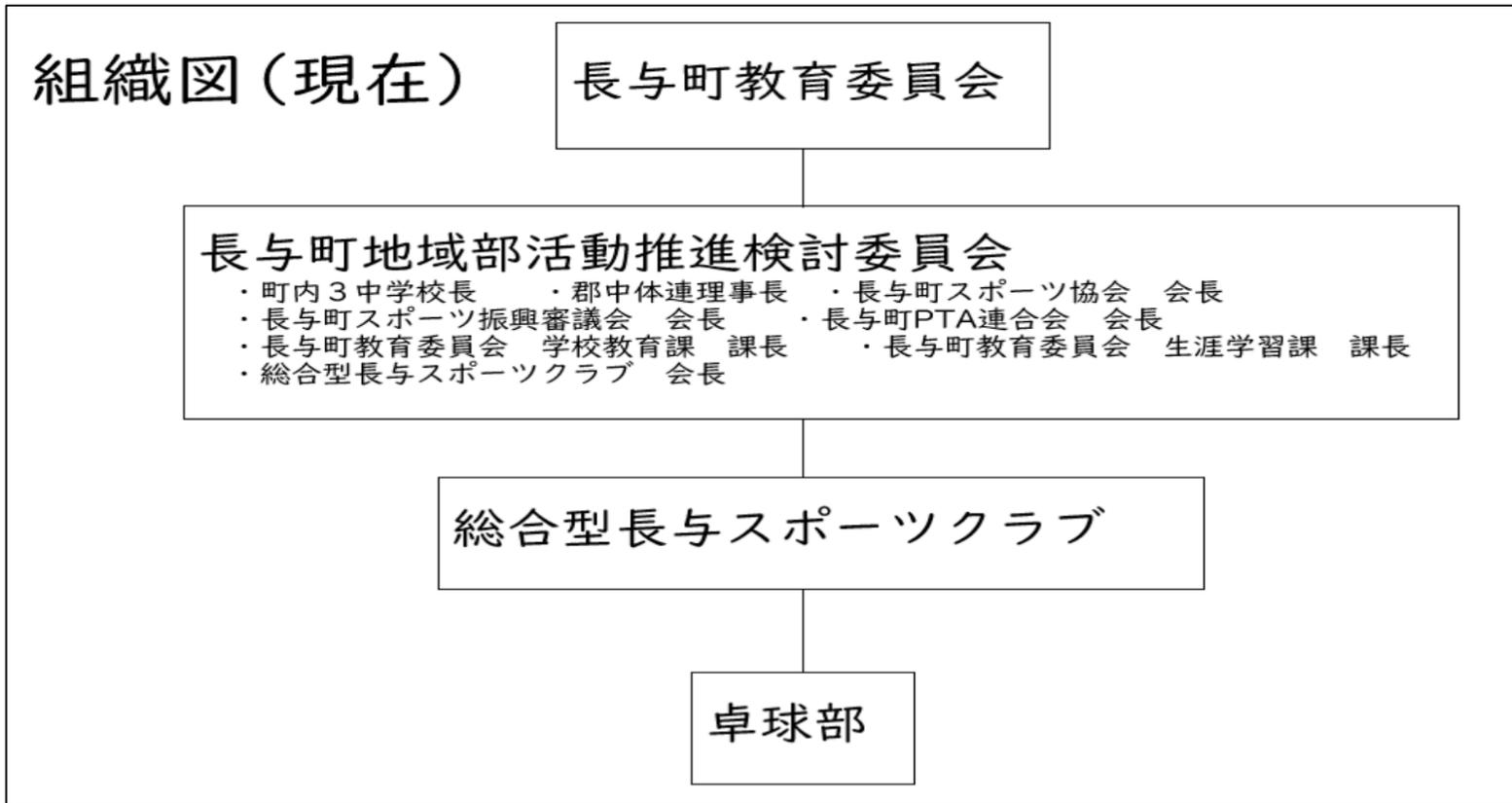
<b>1. 関係団体と協力し、地域移行を推進できる体制を構築するために（別添 資料1 参照）</b>
1.【熟議とセーフティーネット構築】 設置する教育委員会（以下、「教育委員会」）が、地域移行を検討する会議を主催し、関係諸団体の代表を招集する。 検討会議には、校長、PTA代表、スポーツ協会代表がメンバーとして入り情報の共有の場とする。
2.【受け皿の決定】 教育委員会が地域移行検討会議が、受け皿となる団体を指名する。
3.【関係者への説明】 校長が当該学校の教職員・生徒・保護者に説明。スポーツ協会が参加の競技団体に説明。
<b>2. 拠点校や関係団体との協働を効果的に促進するための支援について</b>
1.【支援の姿勢】 教育長・教育委員による「部活動地域移行」の視察と定例教育委員会での協議。 2.町教委から、定期的に関係団体への情報提供。 3.教育委員会主導で、「検討会議」から「推進会議」への移行
<b>3. 地域移行の課題と、課題解決のためには（別添 資料2-1、2-2 参照）</b>
課題は3つ。「人材育成」「財源確保」「意識改革」
1.【人材確保】 受け皿団体への情報提供。現在の外部指導者への地域移行後の指導依頼。
2.【財源確保】 受益者負担。ただし、経済的に厳しい家庭への月会費補助（全額あるいは半額）補助。 受け皿への補助金等の交付。
3.【意識改革】 教育委員会発信による「部活動地域移行」の時期と方法について、保護者・地域への啓発。
<b>4. 実践研究の普及のためには</b>
1.先行事例地区、学校への視察及び聞き取り。 2.実践研究を行っている学校や受け皿団体が主体的に発信していくこと。 3.県の部活動在り方検討委員会での報告及び、情報発信。 4.各市町の実情は様々であるため、移行の方法や持続可能な環境の構築方法も最終的な姿も違って いることが考えられる。いかに、意識を変え、一歩を踏み出させるかが重要。
<b>5. 実証研究により得られたデータ等（別添 資料3-1～資料3-4 参照）</b>
1.地域部活動の運営（時間・週当たり日数・月会費上限・収支状況） 2.登録コーチの指導時間 3.部活動と地域部活動の教職員・保護者負担の比較（ヒアリング） 4.アンケートによる生徒の満足度、保護者、教員の（重要であるが、参加生徒は比較する対象がないため、データとして利用できるかは不透明） 5.クラブマネージャーとしての時間から見た仕事の量（コーディネートも含む）

### Ⅳ まとめ及び次年度以降の課題等（拠点地域及び拠点校の実践から）

1.令和3年度は、長与町自体が部活動の地域移行への必要性を認識していたため、長与町教育委員会及び既存の団体である「長与スポーツクラブ」の協力により、3つの中学校における部活動（卓球）の地域移行に取り組み、先行事例としての効果等を検証し、県内へ周知することができ、十分な啓発につながった。
2.令和4年度以降の取組については、どの市町も改革自体の必要性は感じているものの、地域の実情（人材不足、保護者の理解、運営主体の在り方、学校間の距離、地域の交通事情、大会参加への不安など）を総合的に勘案し、具体的な動きにつながっていないのが現状。県としては、担当者が各市町教育委員会に足を運び、各地区の実情把握と改革への取組が進むよう、取組の具体案を提示し、令和5年度以降の段階的移行につなげるよう説明を継続的に行っていきたい。
3.県の在り方検討委員会や長与町の取組から、これまでの「スポーツは、多くの者が、公平で、無償で、学校で」という文化であった部活動を、いわゆる、「習い事」の1つとして「希望者が、有償で、地域で」という仕組みに切り替えることに対し、地域及び保護者等の理解や認識を得ることが、一番困難でかつ重要であることが、再確認できたため、次年度以降の最重要課題である。

4.「教員の負担軽減」と「子どもたちのスポーツ環境の構築」を同時に図りつつ、その地域の学校やスポーツ文化を新たに創造する取組となるため、段階的な動きの加速化も必要ではあるが、取組の主体となる、各市町教育員会は、学校や地域などと慎重な協議を重ねつつ進めざるを得ない内容である。そのため本改革は、相当な時間がかかることが想定できる。

○体制構築のイメージ



<p><b>部活動運営を長与SCが担当することとなったため、安定した運営が期待できる</b></p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="298 2237 655 2641"> <p>これまで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計</li> <li>・試合申し込み</li> <li>・部員移動(配車)</li> </ul> <p>部活動の運営は、部活動単位の保護者で構成される「部会」で運営されていた。 毎年担当者が変わるため不安定</p> </td> <td data-bbox="663 2237 1037 2641"> <p>融合後</p> <p>部活動の運営は、長与SC事務局が担当</p> <p>保護者間引継が不要となるため、安定が期待できる。</p> <p>保護者負担が減少。特に部員移動はクラブバスを利用するため、保護者には好評</p> </td> </tr> </table>	<p>これまで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計</li> <li>・試合申し込み</li> <li>・部員移動(配車)</li> </ul> <p>部活動の運営は、部活動単位の保護者で構成される「部会」で運営されていた。 毎年担当者が変わるため不安定</p>	<p>融合後</p> <p>部活動の運営は、長与SC事務局が担当</p> <p>保護者間引継が不要となるため、安定が期待できる。</p> <p>保護者負担が減少。特に部員移動はクラブバスを利用するため、保護者には好評</p>	<p><b>長与SC コーチのコメントから</b></p> <p>感じたメリット</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 部活動運営を長与SCが担当することとなったため、安定した運営が期待できる。</li> <li>2. 指導者の確保が容易になった。</li> <li>3. 練習時間が増えた。</li> <li>4. 部員のモチベーションを維持できた。</li> </ol> <p>感じたデメリット 特になし</p> <p>感じた変化 高い目標を立てる部員が増えてきた。</p> 
<p>これまで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計</li> <li>・試合申し込み</li> <li>・部員移動(配車)</li> </ul> <p>部活動の運営は、部活動単位の保護者で構成される「部会」で運営されていた。 毎年担当者が変わるため不安定</p>	<p>融合後</p> <p>部活動の運営は、長与SC事務局が担当</p> <p>保護者間引継が不要となるため、安定が期待できる。</p> <p>保護者負担が減少。特に部員移動はクラブバスを利用するため、保護者には好評</p>		

## ○意識改革への取り組み例

### ①長与町教育委員会（研究推進地域）の例

※保護者、生徒、教職員及び関係団体に向け、部活動改革の必要性を説明する目的で配布。別途、アンケート実施。（資料3以降参照）

<b>休日の部活動の段階的・地域移行の取組について</b>		令和3年10月20日号 長与町教育委員会
部活動の地域移行についてお知らせします。		
<b>Q1 部活動の意義は？</b> A1 生徒の自主的・自発的な参加により、責任感や連帯感、学習意欲の向上などに役立つものとして、学習指導要領に位置づけられている活動です。また、日本のジュニア世代のスポーツ環境の基盤にもなっています。		
<b>Q2 部活動の現状は？</b> A2 様々な課題があります。 ○少子化のための生徒数の減少⇒学校単位でチームが組めない、希望する競技ができない ○休日の活動を支える教師の献身的な勤務⇒教師の超過勤務 ○顧問、教師の異動⇒部活動の指導方針の変更 ○顧問、教師の競技経験の有無⇒指導の専門性や担当者の精神的不安等		
<b>Q3 解決策は？</b> A3 これからの課題を解決するために、国は、令和5年度以降、休日の部活動を学校の管理下から、「地域の指導者などによる地域のスポーツ活動」として段階的に移行することを計画しています。 これによって ○合同部活動による競技力向上や、競技の選択肢の増加 ○顧問の教師の長時間勤務の緩和 ○顧問の教師の異動後も地域の指導者による一貫性ある指導 ○競技の専門性と持続性の向上 が可能となると考えます。		
<b>【長与町の新たな取組】</b> そのような中、長与町は、スポーツ庁の指定を受け、長与町内中学校の部活動の地域移行を先行的に試すことになりました。		
<b>① 長与中卓球部の休日の地域移行</b> 土日・祝日に地域スポーツクラブでの合同練習を実施し、円滑な部活動運営と、専門的指導の充実、試合引率業務の補助などの取組を通して、部活動体制の構築を図っています。	<b>② 長与スポーツクラブへの業務委託</b> 地域部活動の全国展開を行う「地域部活動推進事業」について、長崎県の委託を本町が受託し、NPO 法人長与スポーツクラブに再委託いたしました。	
<b>③ 長与町地域部活動推進検討委員会</b> 長与町では、長与町内の部活動の地域移行がよりよく進むよう、学校・地域・体育協会・町教委の関係者から成る「長与町地域部活動推進検討委員会」を立ち上げ、必要な事項について協議を重ねているところです。地域人材の確保や費用負担の在り方、運営団体の確保などの課題について、生徒はもちろん保護者や地域の皆様のご理解をいただきながら取り組んでまいります。		
生徒や保護者、教師に対するアンケートを実施し、長与町の実態にあった形で地域移行を進めていきたいと考えておりますので、裏面アンケートへのご協力をお願いいたします。		

### 【参考 配布後の保護者の声 アンケートQ6の回答より一部抜粋】

- クラブの監督によっては熱が入りすぎて、日曜日もなくなり休日が取れなくなるのでは？
- 先生の負担を考えるなら、平日の放課後も専門の外部の先生にお願いするなど、委託したらいいのでは？委託出来るものは委託して、学校の先生は学業や生徒の心のケアに専念してほしい。
- 外部に委託する形になれば、保護者の送迎、経済的負担が大きくなるのではないかな。
- 指導者によっては学校差や活動幅に差が出てきそう。子供達の信頼関係を築くのが難しくなりそう。
- 外部講師の活用で先生方の負担が減り、教員本来の業務に専念できれば良いと思います。ただ、土日の働き方を見直すだけでなく、日常的に不要な事務作業等も見直し、教員の働き方改革も一緒に検討して欲しいです。子ども達からは、「外部コーチとトラブルになった時、先生に相談できる体制は必ず作って欲しい!」と、お願いされました。先生、生徒双方に有益な改革になることを願います。
- 部活動は中学校生活の一部だと思っていたので、同じ学校での仲間意識が減るのではないかな…部員が多いと試合経験を積めない子も出てくるのではないかな。
- 学校では成立してない部活について地域活動にすることで活動可能となり選択肢ができることはありがたいです。ただ、学校単位ではないことから競技によっては一体感を確立するのに時間がかかるのではと不安があります。大会参加時はどのような体制を取るのか等の疑問もあります。
- どういう活動になるのかさっぱり想像がつかない。メリット、デメリットをはっきりさせてほしいと思う。
- どのような団体が指導に当たるのかしっかり説明がほしい。

# ○意識改革への取り組み例

## ②長与スポーツクラブ（研究推進団体）の例

※関係団体及び各学校、地域に向けた情報発信

### 融合～部活動と総合型クラブ～

**クラブの思いと覚悟**

長与 SC は、この地域部活動への移行の取組に相当の覚悟をもって取り組むこととしました。

- 令和 5 年度以降、土日の部活動について、教職員が担当しなくてもよい状況となるため、部活動を停滞させてはならないとの思いのもと、地域部活動を担当することに手をあげました。
- 長与 SC の経営状況から考えると、経理上、人事上大きな負担がかなりかかることを覚悟しています。
- 長与 SC の運営方針が子どもたちの実態と合わない場合は、この事業から躊躇なく撤退する覚悟です。

教室名	対象	月会費	入会金	活動日	支出対象					クラブバス優先	部活動運営 ※1
					指導謝金	指導交通費	物品	試合参加費	指導者保険料		
卓球 C	長与中卓球部員	3000 円	1000 円	土・日	○	×	○	団体○	○	1	○
サッカー C	長与中サッカー部員	500 円	1000 円	日	×	○	×	×	○	3	×
陸上	小 5 ～ 中 (学校不問)	2000 円	1000 円	土	○	×	○	×	○	2	—

※1 「部活動運営」とは、これまで保護者が年度ごとに会を組織し担当してきた運営内容。具体的には、部費の徴収・支出等会計、試合申込、遠征・練習試合時の配車計画、土日および夏休みの見守り当番、歓送迎会の企画運営などを指す。

#### 卓球 C 教室運営概要

**対象**：長与中卓球部員で、さらに競技力向上を希望する生徒。

**活動～コーチ**  
 活動日：土・日  
 活動場所：長与中多目的室  
 コーチ：長与スポーツクラブ認定コーチ（長与中学校外部コーチ等から認定）

**リスク管理～長与スポーツクラブ事務局**  
 感染症：対策等ガイドライン策定・対応  
 熱中症：ガイドライン策定・対応、WBGT計  
 けが：スポーツ障害保険、指導者保険  
 運営および指導方針等に係る苦情対応：長与スポーツクラブ

**マネジメント～すべて長与スポーツクラブ事務局**  
 会計：【収入】月会費 3000 円、保険料（年間）800 円、入会金 1000 円  
 【支出】物品、コーチ指導謝金、団体試合参加費、指導者保険料  
 人事管理：コーチ任免  
 卓球協会等への対応：試合申込等  
 遠征等：クラブバス

#### サッカー C 教室概要

**対象**：長与中サッカー部員で、さらに競技力向上を希望する生徒。

**活動～コーチ**  
 活動日：日曜日  
 活動場所：長与中グラウンド  
 コーチ：長与スポーツクラブ認定コーチ

**リスク管理～長与スポーツクラブ事務局**  
 感染症：対策等ガイドライン策定・対応  
 熱中症：ガイドライン策定・対応、WBGT計  
 けが：スポーツ障害保険、指導者保険  
 運営および指導方針等に係る苦情対応：長与スポーツクラブ

**マネジメント～一部長与スポーツクラブ事務局**  
 会計：【収入】月会費 500 円、保険料（年間）800 円、入会金 1000 円  
 【支出】コーチ交通費、指導者保険料  
 人事管理：コーチ任免  
 遠征等：クラブバス（卓球 C が優先）

#### 陸上教室概要

**対象**：長与町及び近郊の小学校 5 年生以上で、競技力向上を希望する児童生徒

**活動～コーチ**  
 活動日：土曜日  
 活動場所：長与町総合運動公園陸上競技場  
 コーチ：長与スポーツクラブ認定コーチ

**リスク管理～長与スポーツクラブ事務局**  
 感染症：対策等ガイドライン策定・対応  
 熱中症：ガイドライン策定・対応、WBGT計  
 けが：スポーツ障害保険、指導者保険  
 運営および指導方針等に係る苦情対応：長与スポーツクラブ

**マネジメント～長与スポーツクラブ事務局**  
 会計：【収入】月会費 2000 円、保険料（年間）800 円、入会金 1000 円  
 【支出】コーチ指導謝金、指導者保険料、トレーニング消耗品  
 人事管理：コーチ任免

## ○アンケートの取り組み例（長与町教育委員会）

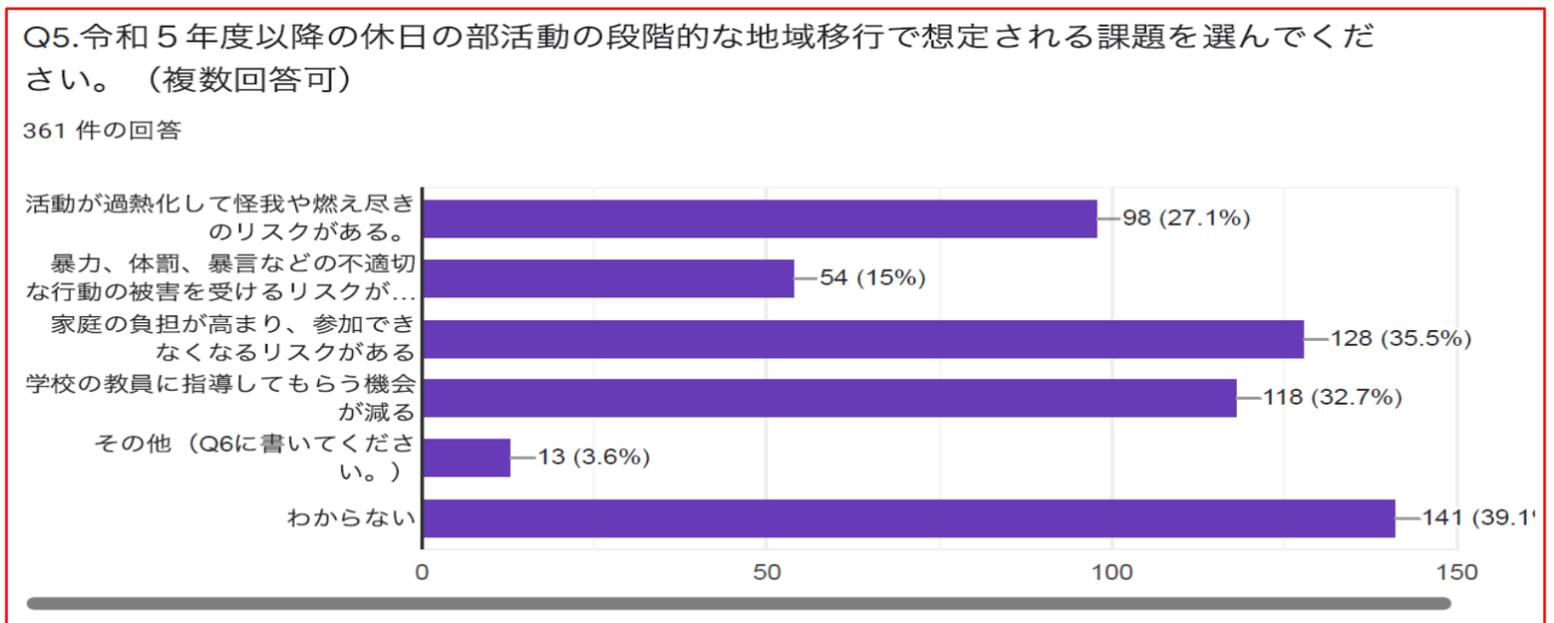
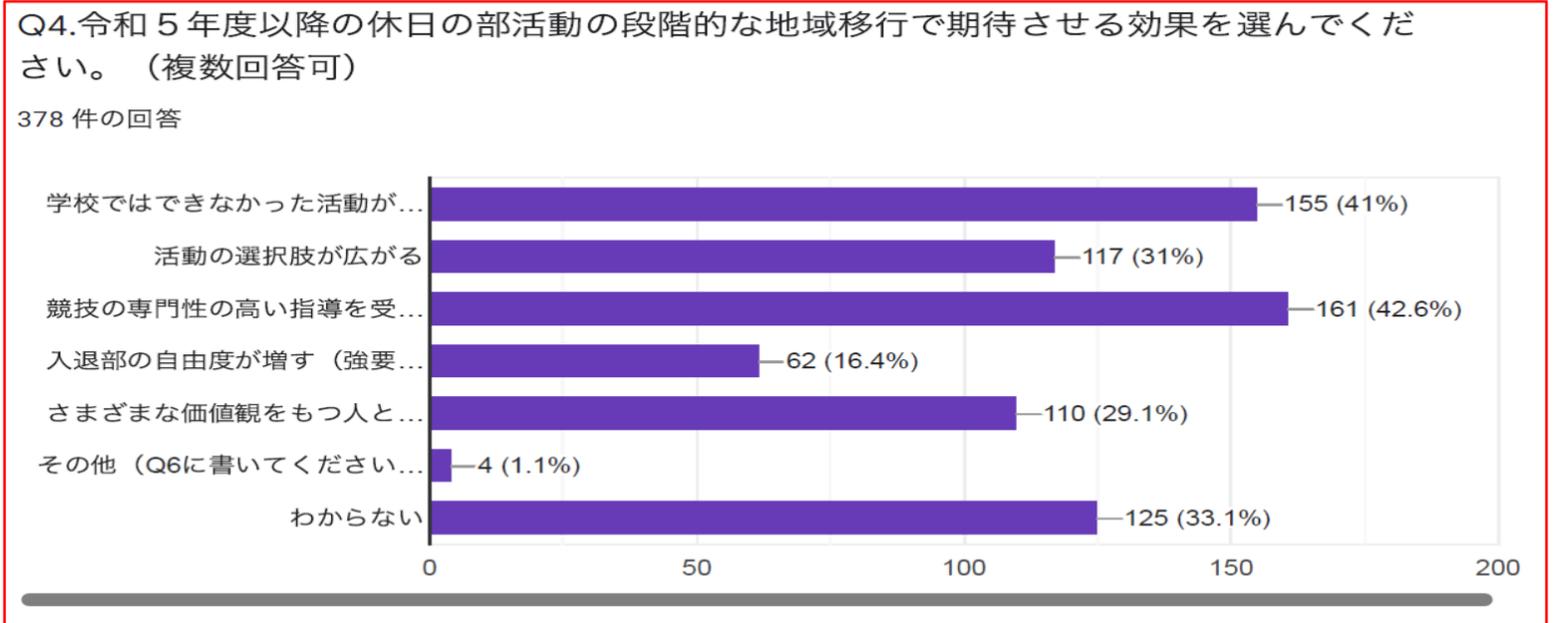
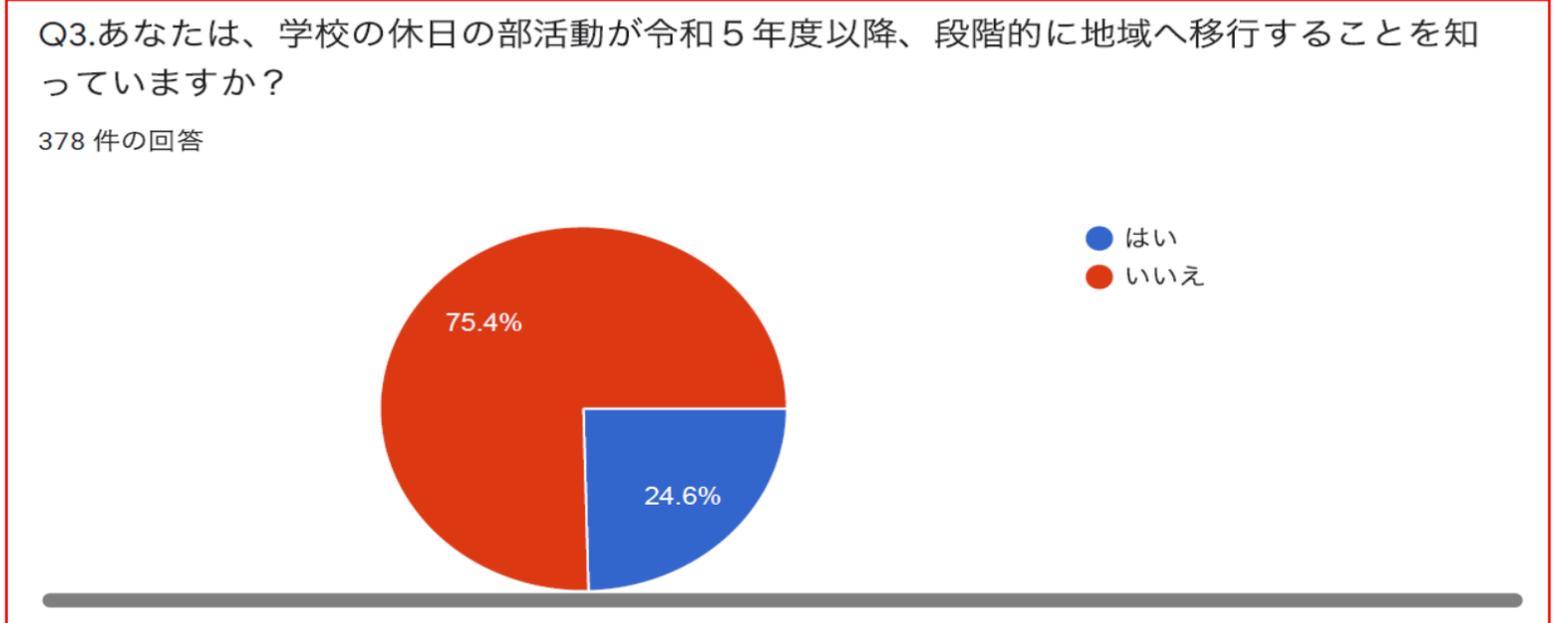
※「資料2-1」配布時にアンケートを実施。対象は長与町内にある3中学校の生徒、保護者、教職員を対象

※結果については、資料3-2（生徒）、資料3-3（保護者）、資料3-4（教職員）を参照（一部抜粋）

アンケートについて		裏面			
<b>アンケートの実施について</b> 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行について、以下の内容のアンケートを○生徒用（中学校1, 2年）、○保護者用、○教師用に実施いたします。アンケートの内容についてご確認ください。本アンケートは Web ページにて回答できます。可能な範囲でのご協力をお願いいたします。なお、通信費については、ご負担ください。					
○生徒用		○保護者用		○教師用	
<b>【生徒用】(Q1.学校、Q2.学年を選んでください。)</b> Q3 あなたは、学校の休日の部活動が令和5年度以降、段階的に地域へ移行することを知っていますか。 ○はい ○いいえ Q4 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行で期待される効果を選んでください。(複数回答可) ○学校ではできなかった活動ができる ○活動や競技の選択肢が広がる ○競技の専門性の高い指導が受けられる ○入退部の自由度が増す(強制されにくい) ○さまざまな価値観をもつ人との交流の中で成長できる ○その他(Q6 に書いてください。) Q5 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行で想定される課題を選んでください。(複数回答可) ○活動が過熱化して怪我や燃え尽きのリスクがある ○学校の教員に指導してもらう機会が減る ○暴力、体罰、暴言などの不適切な行動の被害を受けるリスクがある ○家族の負担(費用など)が高まり、参加できなくなるリスクがある ○その他(Q6 に書いてください。) Q6 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行について意見があれば書いてください。					
<b>【保護者用】(Q1.学校、Q2.学年を選んでください。Q3は【児童・生徒用】と同じです。)</b> Q4 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行で期待される効果を選んでください。(複数回答可) ○学校ではできなかった活動ができる ○活動や競技の選択肢が広がる ○競技の専門性の高い指導が受けられる ○入退部の自由度が増す(強制されにくい) ○保護者の負担が減る ○地域のスポーツや文化活動が活性化する ○地域のなかで連帯感や信頼関係が向上し、部活動以外でも役立つ ○その他(Q6 に書いてください。) Q5 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行で想定される課題を選んでください。(複数回答可) ○活動が過熱化して怪我や燃え尽きのリスクがある ○暴力、体罰、暴言などの不適切な行動の被害を受けるリスクがある ○家族の負担(費用など)が高まり、参加できなくなるリスクがある ○学校の教員に指導してもらう機会が減る ○受け皿となる地域団体の負担が増す(安全管理、会計等) ○受け皿となる地域団体がある地域とそうでない地域で格差が広がる ○受け皿となる地域団体が少ない ○その他(Q6 に書いてください。) Q6 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行について意見があれば書いてください。					
<b>【教員用】(Q1.学校を選んでください。Q2は【生徒用】の Q3 と同じです。)</b> Q3 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行で期待される効果を選んでください。(複数回答可) ○部活動指導の負担が減る ○兼職兼業の許可を受けて、部活動の指導ができる ○授業準備などの本来の業務に、より時間とエネルギーを割くことができる ○地域との関係性が強まり、部活動以外でも連携しやすくなる ○その他(Q5 に書いてください。) Q4 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行で想定される課題を選んでください。(複数回答可) ○生徒と部活動を通じて関係性をつくりにくくなる ○その他(Q5 に書いてください。) ○教師としてのやりがい下がる(部活動でもっと指導をしたい) ○地域との連携・協力がうまくいかず、もめたり、かえって負担が増えたりする ○兼職兼業の許可を受け、部活動に従事することができるので、逆に部活動に従事する時間が増える Q5 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行について意見があれば書いてください。					

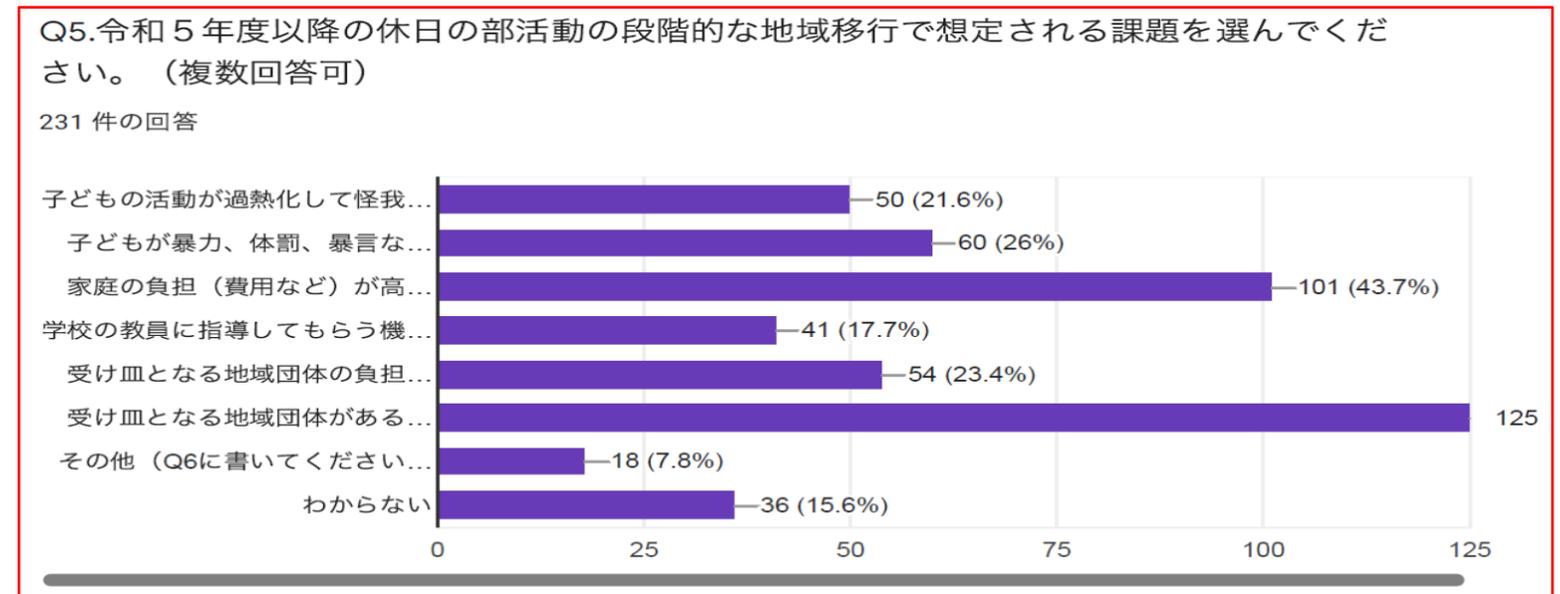
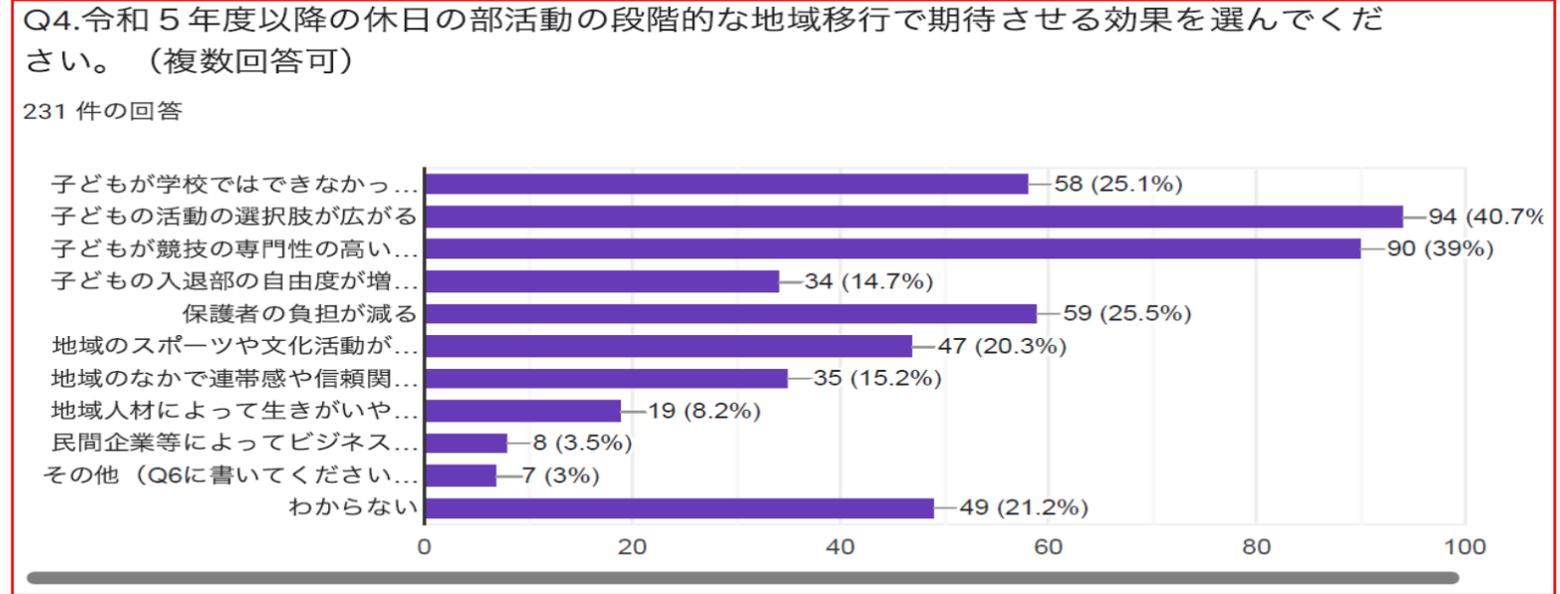
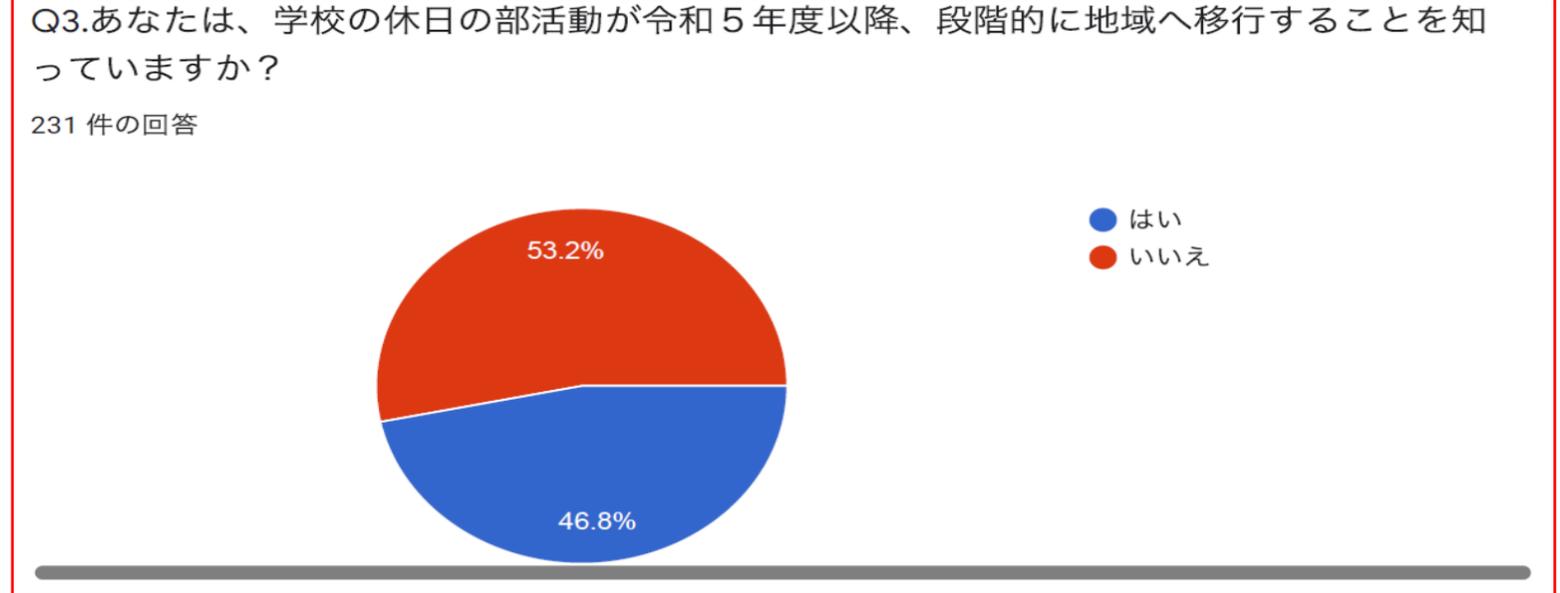
①アンケート結果（生徒） 回答数378

【生徒用】(Q1.学校、Q2.学年を選んでください。)  
 Q3 あなたは、学校の休日の部活動が令和5年度以降、段階的に地域へ移行することを知っていますか。  
 ○はい ○いいえ  
 Q4 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行で期待される効果を選んでください。(複数回答可)  
 ○学校ではできなかった活動ができる ○活動や競技の選択肢が広がる  
 ○競技の専門性の高い指導が受けられる ○入退部の自由度が増す(強制されにくい)  
 ○さまざまな価値観をもつ人との交流の中で成長できる ○その他(Q6に書いてください。)  
 Q5 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行で想定される課題を選んでください。(複数回答可)  
 ○活動が過熱化して怪我や燃え尽きのリスクがある ○学校の教員に指導してもらう機会が減る  
 ○暴力、体罰、暴言などの不適切な行動の被害を受けるリスクがある  
 ○家族の負担(費用など)が高まり、参加できなくなるリスクがある ○その他(Q6に書いてください。)  
 Q6 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行について意見があれば書いてください。



②アンケート結果（保護者） 回答数231

【保護者用】(Q1.学校、Q2.学年を選んでください。Q3は【児童・生徒用】と同じです。)  
**Q4 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行で期待される効果を選んでください。(複数回答可)**  
学校ではできなかった活動ができる 活動や競技の選択肢が広がる  
競技の専門性の高い指導が受けられる 入退部の自由度が増す(強制されにくい)  
保護者の負担が減る 地域のスポーツや文化活動が活性化する  
地域のなかで連帯感や信頼関係が向上し、部活動以外でも役立つ その他(Q6に書いてください。)  
**Q5 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行で想定される課題を選んでください。(複数回答可)**  
活動が過熱化して怪我や燃え尽きのリスクがある  
暴力、体罰、暴言などの不適切な行動の被害を受けるリスクがある  
家族の負担(費用など)が高まり、参加できなくなるリスクがある  
学校の教員に指導してもらう機会が減る  
受け皿となる地域団体の負担が増す(安全管理、会計等)  
受け皿となる地域団体がある地域とそうでない地域で格差が広がる  
受け皿となる地域団体が少ない その他(Q6に書いてください。)  
**Q6 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行について意見があれば書いてください。**



③アンケート結果（教職員） 回答数 33

【教員用】(Q1.学校を選んでください。Q2は【生徒用】の Q3 と同じです。)

Q3 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行で期待される効果を選んでください。(複数回答可)

- 部活動指導の負担が減る ○兼職兼業の許可を受けて、部活動の指導ができる
- 授業準備などの本来の業務に、より時間とエネルギーを割くことができる
- 地域との関係性が強まり、部活動以外でも連携しやすくなる ○その他(Q5 に書いてください。)

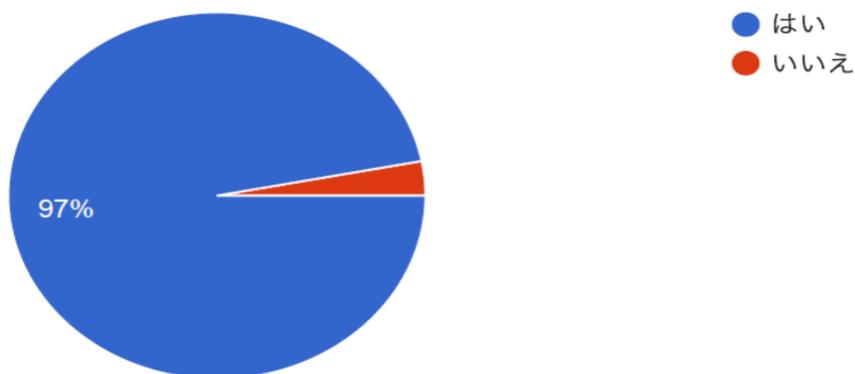
Q4 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行で想定される課題を選んでください。(複数回答可)

- 生徒と部活動を通じて関係性をつくりにくくなる ○その他(Q5 に書いてください。)
- 教師としてのやりがい下がる(部活動でもっと指導をしたい)
- 地域との連携・協力がうまくいかず、もめたり、かえって負担が増えたりする
- 兼職兼業の許可を受け、部活動に従事することができるので、逆に部活動に従事する時間が増える

Q5 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行について意見があれば書いてください。

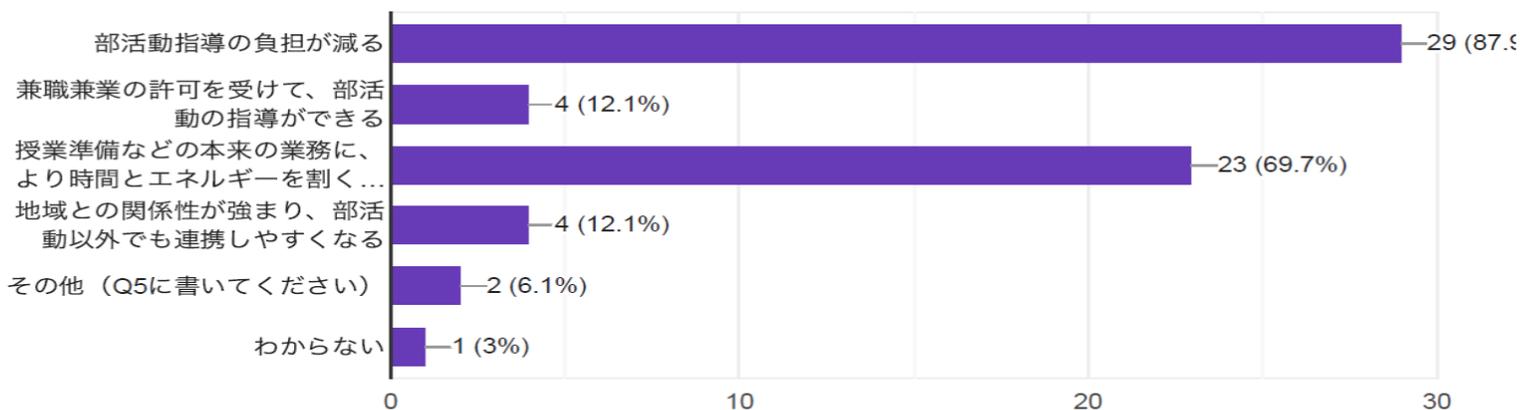
Q2.あなたは、学校の休日の部活動が令和5年度以降、段階的に地域へ移行することを知っていますか？

33 件の回答



Q3.令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行で期待させる効果を選んでください。(複数回答可)

33 件の回答



Q4.令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行で想定される課題を選んでください。(複数回答可)

31 件の回答

